

# 令和5年度予算執行査定の結果（概要）

## 事業の全部又は一部の執行を中止するもの

		プロジェクト数	R5年度予算額	将来の総事業費
<b>第1</b>	執行の一旦停止を5月8日付けで指示していたもの	20プロジェクトのうち <b>15</b> プロジェクト 〔全部執行中止 3プロジェクト 一部執行中止 12プロジェクト〕	<b>▲68.1</b> 億円	約 <b>▲4,730</b> 億円  <ul style="list-style-type: none"> <li>・朱雀大路東側・平城宮跡南側の整備 ▲70億円</li> <li>・大規模広域防災拠点の整備 ▲650億円</li> <li>・国道168号のバイパス整備 ▲260億円</li> <li>・大和西大寺駅高架化・近鉄奈良線移設 ▲800億円</li> <li>・リニア中央新幹線・関西国際空港接続線 ▲1,900億円</li> <li>・スポーツ拠点の整備（橿原運動公園・橿原公苑） ▲430億円</li> <li>・まほろば健康パーク ▲40億円</li> <li>・大和平野中央田園都市構想の拠点施設整備 ▲580億円</li> <li>〔川西町下永地区（テニスコート・食と農の施設等） ▲120億円 三宅町石見地区（工科大学・スタートアップ支援施設等） ▲320億円 田原本町阪手北・西井上地区（球技専用スタジアム等） ▲140億円〕</li> </ul>
<b>第2</b>	一旦停止をするかどうか検討することとしていたもの	5プロジェクトのうち <b>3</b> プロジェクト 〔全部執行中止 1プロジェクト 一部執行中止 2プロジェクト〕	<b>▲0.3</b> 億円	—
<b>第3</b>	執行方法について協議を要することとしていたもの	2プロジェクトのうち <b>1</b> プロジェクト 〔全部執行中止 1プロジェクト〕	— 億円 ※「第1」と重複のため	—
<b>その他</b>	上記以外の事業について、費用対効果や代替手段等の観点から検証したもの	<b>10</b> 事業	<b>▲5.1</b> 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BS放送による奈良県魅力発信事業</li> <li>・郡山総合庁舎浄化槽撤去工事</li> <li>・果樹・薬草研究センター本館空調設備等改修</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

令和5年度奈良県予算執行査定結果一覧

区分		プロジェクト名	
第1	執行の一旦停止を5月8日付けで指示していたもの	全部執行中止 (3プロジェクト)	40 アンカールート国道168号の整備
			64 奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けての検討
			79 農地マネジメントの推進・特定農業振興ゾーンの整備
		一部執行中止 (12プロジェクト)	11 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興
			15 平城宮跡歴史公園の整備
			17 自転車の周遊環境整備と安全利用
			20 大規模広域防災拠点の整備
			46 大和西大寺駅の高架化・近鉄奈良線の移設
			48 リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線
			59 西和医療センターの移転・再整備の検討
			65 まほろば健康パークの機能強化
			66 (仮称) 奈良県立工科大学の設置推進、奈良県立大学の教育充実
			80 中央卸売市場の再整備
81 N A F I C 教育の充実と周辺の整備			
91 大和平野中央田園都市構想の推進			
第2	一旦停止をするかどうか検討することとしていたもの	全部執行中止 (1プロジェクト)	85 みつえ高原牧場の整備
		一部執行中止 (2プロジェクト)	78 国際交流の強化・拡大と東アジア地方政府会合の充実発展
			100 県庁版「良い人材が集まり、育つ」職場の実現
第3	執行方法等について知事と協議を要することとしていたもの	全部執行中止 (1プロジェクト)	74 文化観光推進・歴史体験 なら記紀・万葉プロジェクトの継続展開
その他	上記以外の事業について、費用対効果や代替手段等の観点から検証したもの	全部執行中止 (7事業) 一部執行中止 (3事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B S 放送による奈良県魅力発信事業</li> <li>・ 郡山総合庁舎浄化槽撤去工事</li> <li>・ 果樹・薬草研究センター本館空調設備等改修工事</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

## 令和5年度当初予算の執行査定の結果について

### 第1. 執行の一旦停止を5月8日付けで指示していたもの

#### ① (2) 工場誘致・工業ゾーンの創出

2. 産業用地の創出(2) (仮称)御所IC工業団地の整備(予算:予算どおり執行)

#### ② (5) 県産品の海外販路、国内販路の拡大

1. 海外への販路拡大

④<sup>勘</sup>フランス・パリのセレクトショップにおいて県内企業による県産品のテストマーケティングを支援(予算:予算どおり執行)

執行にあたっては、セレクトショップの立地等、より高い事業効果が得られるよう検討する。

#### ③ (11) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

2. 賑わいの創出、MICEの誘致推進(予算:▲5,000千円)

費用対効果の観点等から、イベント関連予算について節減を行うこととし、一部予算の執行を中止する(▲5,000千円)。稼働率向上を含めた施設の有効活用のための方策について今後検討する。

#### ④（１３）奈良公園中枢地プロジェクト

##### １．奈良公園の魅力向上（２）アメニティ向上

##### ⑥奈良公園ＢＴでの情報発信、賑わい創出イベント実施（予算：予算どおり執行）

既存施設の有効活用・稼働率向上が重要な課題であるところ、本事業は、使用料等を財源に奈良の奥深い歴史・文化を効果的に発信する事業となっている。引き続き、費用対効果の高いイベントを実施し、奈良公園の賑わいを創出するとともに、既存施設の有効活用・稼働率向上を図っていく。

#### ⑤（１５）平城宮跡歴史公園の整備

##### １．朱雀大路東側・平城宮跡南側の整備（予算：▲１３８，８６４千円）（想定事業費▲７０億円）

【内訳】地質調査▲７５，４００、公園施設等設計・計画▲３５，４６４、遺産影響評価等▲２８，０００

平城宮跡歴史公園は、さらなる賑わいや魅力向上が必要であるが、新たな建物の建設を前提とするのではなく、必要があれば既存の施設を活用しつつ、今後のあり方を再検討し、観光地としての魅力の抜本的強化に取り組む。このため、国とも協議しながら、東側、南側エリアとともに、公園としての利活用の可能性も含め今後のあり方を再検討する。Ｒ５年度は、そのための検討経費や、用地取得費、維持管理経費等について執行し、その他の経費は執行を中止する。

⑥（１７）自転車の周遊環境整備と安全利用

１．自転車利用ネットワークの構築等（予算：▲２３，９５０千円）

費用対効果の観点等から、イベント事業については、来年度におけるより効果的な事業を検討することとし、今年度の事業は中止する。自転車利用ネットワークの効果発現に必要な最低限の事業（案内誘導サインや路面標示等の工事、効果検証手法に関する検討、利用状況調査等）は執行する。

⑦（２０）大規模広域防災拠点の整備（予算：▲２，４９７，００７千円）（想定事業費▲６５０億円）

【内訳】 工事用道路用地取得費・補償調査等▲５９６，８５３、現地測量・地質調査▲３４３，０３８、造成設計・工事▲２５８，１５４、工事用仮設道路▲６６９，４１０、２０００ｍ級滑走路の検討▲１２０，０００、運用方針検討等▲８９，５５２、備品整備等▲３１６，０００、アクセス道路の整備▲１０４，０００

奈良県単独での２０００ｍ級滑走路を備えた大規模広域防災拠点の整備計画は見直すこととし、今後、防災目的での整備内容を多角的に再検討する。Ｒ５年度は、そのための検討経費や購入した土地の維持管理経費等のみを執行し、その他の経費は執行を中止する。

⑧（４０）アンカールート国道 168 号の整備

２．国道 168 号のバイパスの整備（予算：▲ 1 0 4 , 0 0 0 千円）（想定事業費▲260 億円）

（２０）大規模広域防災拠点のアクセス道路であり、同拠点の整備計画を見直すことに伴い、R 5 年度予算は全額執行しない。

⑨（４６）大和西大寺駅の高架化・近鉄奈良線の移設

（予算：▲ 3 1 , 8 0 0 千円）（想定事業費▲800 億円）

【内訳】平城宮跡内を通る近鉄線の移設に向けた地下水位の変動予測（主に地下化部分）の検討▲31,800

大和西大寺駅の高架化事業については、駅周辺のいわゆる「開かずの踏切」解消のため、引き続き事業を進める必要があるが、平城宮跡内を通る近鉄線の移設については見直す必要があると考える。このため、大和西大寺駅の高架化のみを行い平城宮跡内の近鉄線は存置する事業案を新たに検討し、現行案と費用対効果の比較等を行い、関係者とも協議の上、整備方針を決定する。R 5 年度は、そのための検討経費等のみを執行し、その他の経費は執行を中止する。

⑩（４８）リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定と関西国際空港接続線

（予算：▲３５，０００千円）（想定事業費▲１，９００億円）

【内訳】「関西国際空港接続線の整備」の調査・検討等▲３５，０００

費用対効果の観点等から「関西国際空港接続線の整備」の調査・検討は行わない。リニア中央新幹線の整備促進と「奈良市附近駅」の早期確定については、引き続き、全面的に協力・推進していく。そのために地元自治体として必要とされる駅候補地等に係る社会・文化・自然条件や駅周辺のまちづくり等に関する調査・検討経費のみを執行し、その他の経費は執行を中止する。

⑪（５９）西和医療センターの移転・再整備の検討

１．西和医療センターの移転・再整備の検討（予算：▲６８，１０１千円）

西和医療センターの移転・再整備については、ＪＲ王寺駅南側に加え、他の候補地も含めて、費用対効果等を比較・検討し、関係者と協議のうえ、方針を決定していく。このため、Ｒ５年度は、適地の再検討の実施も含めた検討経費のみを執行し、ＪＲ王寺駅南側の用地取得に直接繋がるアクセス機能確保検討業務や補償調査業務等の経費は執行を中止する。

⑫（６４）奈良県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けての検討

１．スポーツ拠点の整備推進（予算：▲２２７，２００千円）（想定事業費▲４３０億円）

【内訳】 〈橿原運動公園の一部及び周辺〉用地関係調査▲９４，６００  
〈川西町・田原本町〉整備・運営手法の検討等▲７８，０００、文化財発掘調査等▲５４，６００

国民スポーツ大会の開催に向けては、施設を新設するのではなく、既存施設を有効活用することを基本とし、競技環境向上に必要な修繕や改修を大会後の有効活用も見据えて実施する。市町村にも協力を依頼するが、それらの市町村有施設に改修等が必要な場合は、県による費用負担も検討する。それでも会場が不足する場合は、近府県に協力を求めることを検討する。このため、新たな施設の建設に向けたＲ５年度予算は、全額執行しない。

⑬（６５）まほろば健康パークの機能強化（予算：▲５５，５００千円）（想定事業費▲４０億円）

【内訳】敷地整地費▲５５，５００

新たな施設の整備については、ニーズの把握や他の既存施設とは異なる付加価値の提供等が重要。県内の同種の施設との重複も含め、整備が必要な施設を再検討することとする。Ｒ５年度は、そのための検討経費等のみを執行し、その他の整備関連の経費等は執行を中止する。

⑭（６６）（仮称）奈良県立工科大学の設置推進、奈良県立大学の教育充実

１．（仮称）奈良県立工科大学の設置に向けた検討（予算：▲２０，２６９千円）

【内訳】 大学設置認可申請支援業務委託▲12,329、有識者への報酬等▲7,940

費用対効果や企業ニーズ、既存の国立大学法人等との役割分担等の観点から、全国最先端の工学系の大学・大学院の設立を目指す「県立工科大学の設置」については見直すこととし、大学設置認可申請に向けた検討経費の執行を中止する。産学官の連携・協働等による、大和平野中央をはじめとする県内での新規産業や新興企業の創出、県内企業の新たな事業展開、企業ニーズを踏まえた教育・研究機能など工学系人材の確保等を推進するための新たな方策を調査・検討していく。R5年度予算については、今後、このための経費のみを執行し、大学設置認可申請に向けた検討経費は執行しない。

⑮（７３）文化の振興

４．文化会館のリニューアル（予算：予算どおり執行）

本事業については、本県の文化・芸術や子どもの教育、観光等の振興・発展に貢献するもので、関連企業との連携・協働の見通しも確保されている。他方、現行計画は、事業規模が大きく、県民負担が過大であり、費用対効果の観点から見直しが必要。このため、計画を見直し、県民負担の抑制を図ることとする。そのことを前提にR5年度予算については予算どおり執行することとする。

⑩ (79) 農地マネジメントの推進・特定農業振興ゾーンの整備

2. 特定農業振興ゾーンの整備

⑧大和平野中央田園都市構想川西町下永地区の整備（予算：▲22,500千円）

「大和平野中央田園都市構想」の一つである川西町下永地区における施設整備計画については、費用対効果、事業者との適切な役割分担の確保等の観点から見直すこととし、整備内容を含め、計画を再検討する。再検討にあたっては、関係者と協議を行い、川西町を含む大和平野中央地域の持続的な振興・発展に向けて協力して進めていく。そのため、R5年度予算は、全額執行しない。

⑪ (80) 中央卸売市場の再整備（予算：▲133,751千円）

【内訳】整備事業者募集▲32,888、市場北側（駐車場用地等）造成に向けた設計等▲80,863、埋蔵文化財発掘調査▲20,000

整備計画を再検討する。市場エリア（BtoB）整備については将来の取引量の減少等を見越した適正な規模について、賑わいエリア（BtoC）整備については現行プランの実現性等について現整備計画の精査を行う。R5年度は、そのための検討経費や用地取得費、買収地の管理費等のみを執行することとし、その他の経費は執行を中止する。

⑱ ( 8 1 ) N A F I C 教育の充実と周辺の整備 ( 予算 : ▲ 9 , 6 1 3 千円 )

B C C ( バスクカリナリーセンター ) との交流事業については、外交儀礼の観点も踏まえ、予算どおり執行することとし、来年度以降については、今年度の取組を検証した上で事業内容を検討する。N A F I C 周辺の賑わいづくりについては、まず、既存施設の稼働率の向上等に取り組むこととする。このため、セミナーハウス上段部への新たな集客施設整備に向けた民間事業者誘致は行わない。また、セミナーハウスの利便性の向上等に向けた整備については、エレベーター及び渡り廊下の整備は行わず、駐車場の増設のみを行うこととする。

⑲ ( 9 1 ) 大和平野中央田園都市構想の推進 ( 予算 : ▲ 3 , 6 9 8 , 0 9 6 千円 )

( 想定事業費 ▲ 580 億円 )

【内訳】 川西町下永地区 ▲ 120、三宅町石見地区 ▲ 320、田原本町阪手北・西井上地区 ▲ 140)

【内訳】 事業用地の取得 ( 土地開発公社からの買い戻し ) ▲ 3, 520, 996、食と農の施設の基本計画 ▲ 12, 500、ウエルネスタウン ( 川西町・田原本町 ) の整備・運営手法の検討 ▲ 72, 000、文化財発掘調査等 ▲ 92, 600

県立工科大学の整備や国民スポーツ大会に向けた新施設の整備を計画している「大和平野中央田園都市構想」の拠点施設整備 ( 川西町下永地区、三宅町石見地区、田原本町阪手北・西井上地区 ) については見直し、整備内容を含め、計画を再検討することとする。再検討にあたっては、関係者と協議を行い、大和平野中央地域の持続的な振興・発展に向けて協力して進めていく。そのため、R 5 年度予算は、買収した用地の管理費を除き執行しない。磯城郡 3 町と連携した先進的な取組については、単なる企業の経費負担の軽減ではなく、県民及び地域の利益が十分に確保されるよう留意して予算を執行する。

⑳（９６）奈良県総合医療センター跡地のまちづくり（予算：予算どおり執行）

旧奈良県総合医療センターの建物除却工事を進める。跡地の活用については、関係者と協議しながら、検討していくこととする。

第２ 一旦停止をするかどうか検討することとしていたもの

①（４４）奈良の新しい道路整備の仕組

（１）道路・街路の整備のうち道路改良事業等基礎調査（予算：予算どおり執行）

②（５８）県立医大の移転、医大病院施設・新外来棟の整備

１．県立医大の移転のうち新外来棟基本計画策定業務及びスキルスラボ棟・教育研修棟移転先設計業務（予算：予算どおり執行）

③（78）国際交流の強化・拡大と東アジア地方政府会合の充実発展

2. 中国・清華大学との交流（予算：▲12,392千円）

4. NAFICとBCCとの連携推進、5. 第12回東アジア地方政府会合等の開催

（予算：予算どおり執行）

「中国・清華大学との交流」については、人材養成を目的に、学生の交流を行うこととし、専門家の交流は行わないこととする。また、海外での歴史文化資源の展覧会については、県事業としてではなく、専門機関等での開催に協力する方針とする。そのため、昨年清華大学で開催した展覧会の交換展として実施を計画している展覧会の準備経費については、執行しない。

「NAFICとBCCとの連携推進」、「第12回東アジア地方政府会合等の開催」については、R5年度は予算どおり執行することとし、来年度以降については、今年度の取組を検証した上で事業内容を検討する。

④（85）みつえ高原牧場の整備（予算：▲11,000千円）

整備にあたっては、住民のコンセンサスが得られることが必要であり、現在の整備計画は再検討する。畜産環境対策や地域振興にかかるアイデア募集に提案のあった業者から意見の聴取等を行い、住民の理解が得られる整備内容を検討していく。そのため、R5年度予算は全額執行しない。

⑤ (100) 県庁版「良い人材が集まり、育つ」職場の実現

行政文書管理保管事業、県職員の海外留学事業（予算：▲1,785千円）

行政文書電子化推進事業、研修プラットフォーム運営管理事業、キャリア・ワーク・サクセスセンター整備事業、人材開発プラットフォーム改修事業（予算：予算どおり執行）

行政文書管理保管事業については、既存の県有施設の活用や電子化した行政文書の廃棄等により、経費の節減を図ることとし、一部予算の執行を中止する。県職員の海外留学事業については、一部経費について自己負担を求めることとし、一部予算の執行を中止する。

第3 執行方法等について知事と協議を要することとしていたもの

① (45) 円滑な用地買収・用地補償（予算：予算どおり執行）

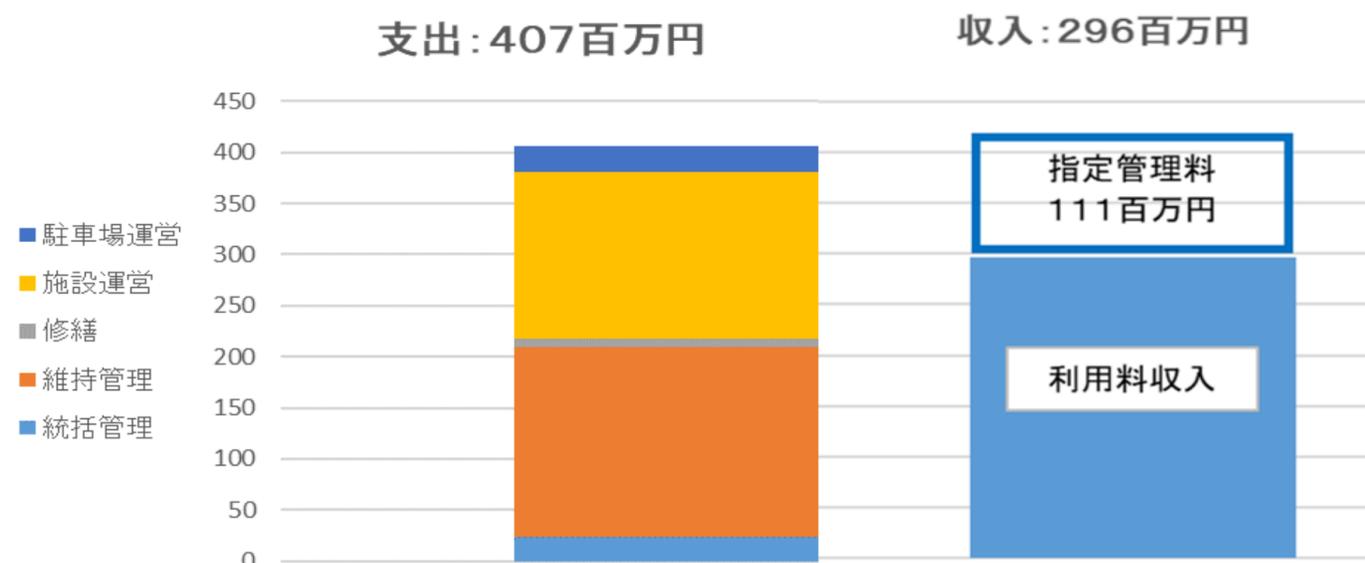
②（74）文化観光推進・歴史追体験 なら記紀・万葉プロジェクトの継続展開

4. 欧州・中国での開催ノウハウを活かし、奈良の歴史文化を発信する、新たな展覧会を実施  
（予算：▲4,000千円）

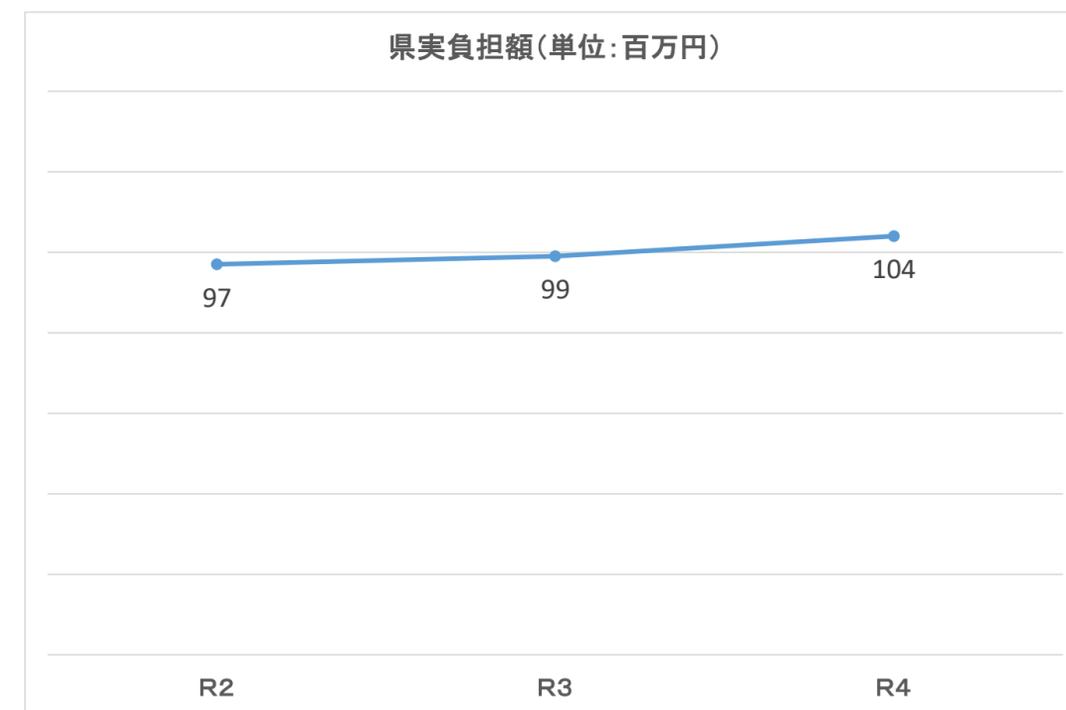
海外での歴史文化資源の展覧会については、県事業としてではなく、専門機関等での開催に協力する方針とする。そのため、新たな展覧会の準備経費であるR5年度予算については、全額執行しない。

施設名	整備費 (イニシャルコスト)	毎年度必要な経費		
		ランニング・コスト (令和4年度決算見込みベース)	公債費(元利) 借入期間 30年 平年度化ベース	合計
奈良県コンベンションセンター 令和2年4月 オープン 運営方式:PFI事業 PFI事業者・指定管理者[利用料金制] PFI奈良賑わいと交流拠点(株) 契約期間 平成28年6月から令和17年3月	20,148百万円 [財源内訳] 国庫補助金 1,431百万円 県債 1,841百万円 一般財源等 16,876百万円	支出 111百万円 指定管理委託料(運営・管理) 【積算:支出407-収入296=111百万円】 収入 23百万円 土地建物貸付料ほか 支出-収入(県実負担) 88百万円	70百万円 (元金68百万円+利息2百万円) うち交付税措置 18百万円 県実負担 52百万円	合計 合計158百万円 県実負担合計 140百万円

指定管理委託料の積算

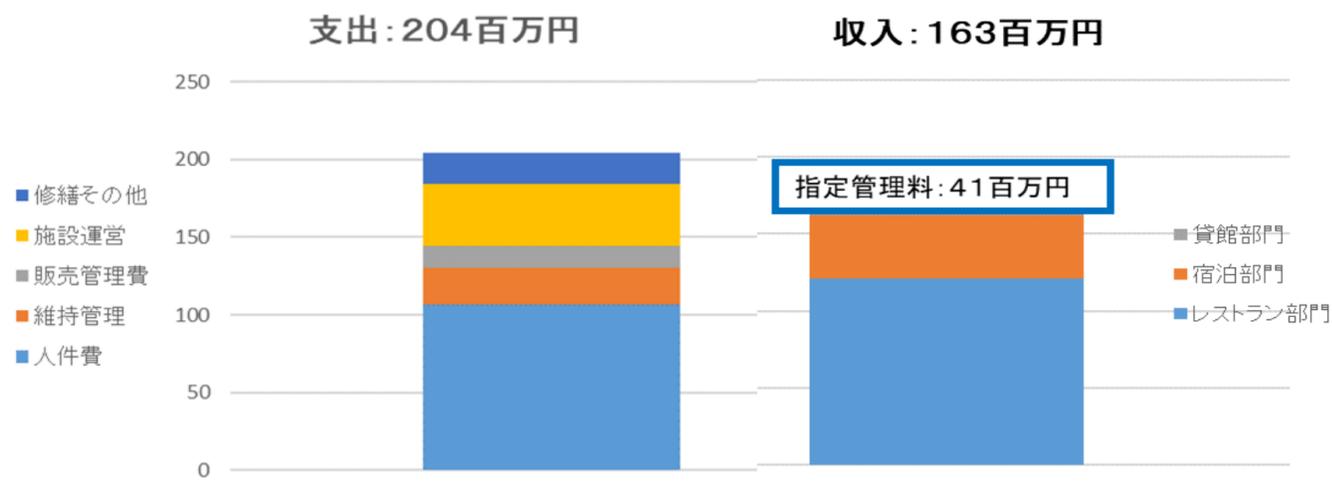


県実負担の推移(ランニング+公債費)

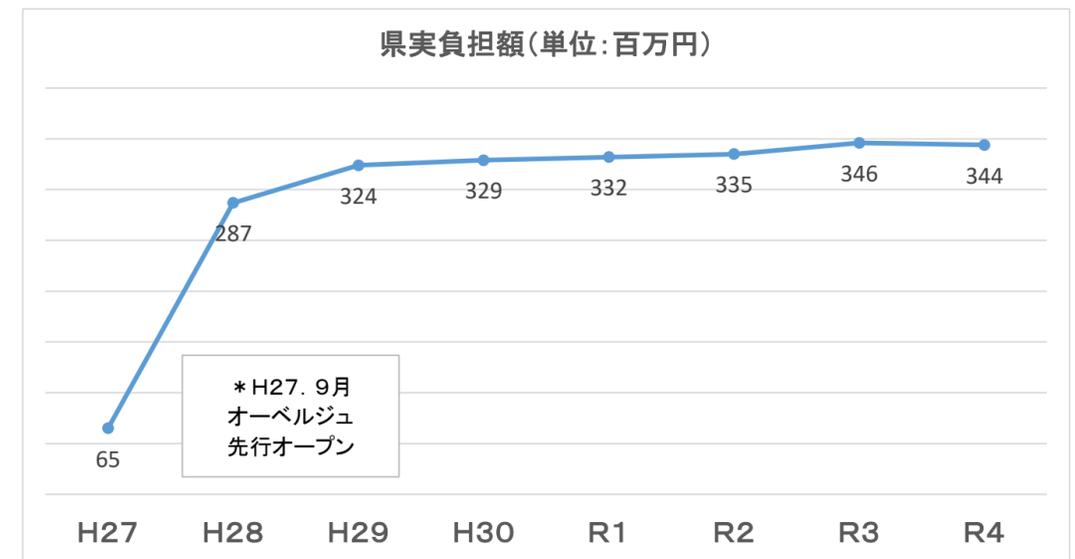


施設名	整備費 (イニシャルコスト)	毎年度必要な経費																																
<p>なら食と農の魅力創造国際大学校 (県出先機関)</p> <p>平成28年4月 オープン (平成27年9月 オーベルジュ先行オープン)</p> <p>運営方式:直営+指定管理[利用料金 制]</p> <p>指定管理者 (実践オーベルジュ棟) (株)ひらまつ 契約期間 令和2年4月から令和7年3月</p>	<p>2, 103百万円</p> <p>[財源内訳] 国庫補助金 112百万円 県債 105百万円 一般財源等 1, 886百万円</p>	<p>ランニング・コスト (令和4年度決算見込みベース)</p> <table border="1"> <tr><td>支出</td><td>383百万円</td></tr> <tr><td>職員給与費</td><td>193百万円</td></tr> <tr><td>講師等報酬・報償費</td><td>16百万円</td></tr> <tr><td>運営・管理費</td><td>89百万円</td></tr> <tr><td>調理実習業務委託料</td><td>42百万円</td></tr> <tr><td>指定管理委託料</td><td></td></tr> <tr><td>    オーベルジュ棟</td><td>41百万円</td></tr> <tr><td>【積算:支出204-収入163=41百万円】</td><td></td></tr> <tr><td>その他(負担金等)</td><td>2百万円</td></tr> <tr><td>収入</td><td>42百万円</td></tr> <tr><td>授業料・受講料</td><td>18百万円</td></tr> <tr><td>入学考査料・入学料</td><td>6百万円</td></tr> <tr><td>生産物収入</td><td>7百万円</td></tr> <tr><td>その他(手数料等)</td><td>11百万円</td></tr> <tr><td>支出-収入(県実負担)</td><td>341百万円</td></tr> </table> <p>*フードクリエイティブ学科とアグリマネジメント 学科の合計</p>	支出	383百万円	職員給与費	193百万円	講師等報酬・報償費	16百万円	運営・管理費	89百万円	調理実習業務委託料	42百万円	指定管理委託料		オーベルジュ棟	41百万円	【積算:支出204-収入163=41百万円】		その他(負担金等)	2百万円	収入	42百万円	授業料・受講料	18百万円	入学考査料・入学料	6百万円	生産物収入	7百万円	その他(手数料等)	11百万円	支出-収入(県実負担)	341百万円	<p>公債費(元利) 借入期間 30年 平年度化ベース</p> <p>4百万円 (元金4百万円+利息0百万円)</p> <p>うち交付税措置 1百万円</p> <p>県実負担 3百万円</p>	<p>合計</p> <p>合計345百万円</p> <p>県実負担合計 344百万円</p>
支出	383百万円																																	
職員給与費	193百万円																																	
講師等報酬・報償費	16百万円																																	
運営・管理費	89百万円																																	
調理実習業務委託料	42百万円																																	
指定管理委託料																																		
オーベルジュ棟	41百万円																																	
【積算:支出204-収入163=41百万円】																																		
その他(負担金等)	2百万円																																	
収入	42百万円																																	
授業料・受講料	18百万円																																	
入学考査料・入学料	6百万円																																	
生産物収入	7百万円																																	
その他(手数料等)	11百万円																																	
支出-収入(県実負担)	341百万円																																	

指定管理委託料の積算

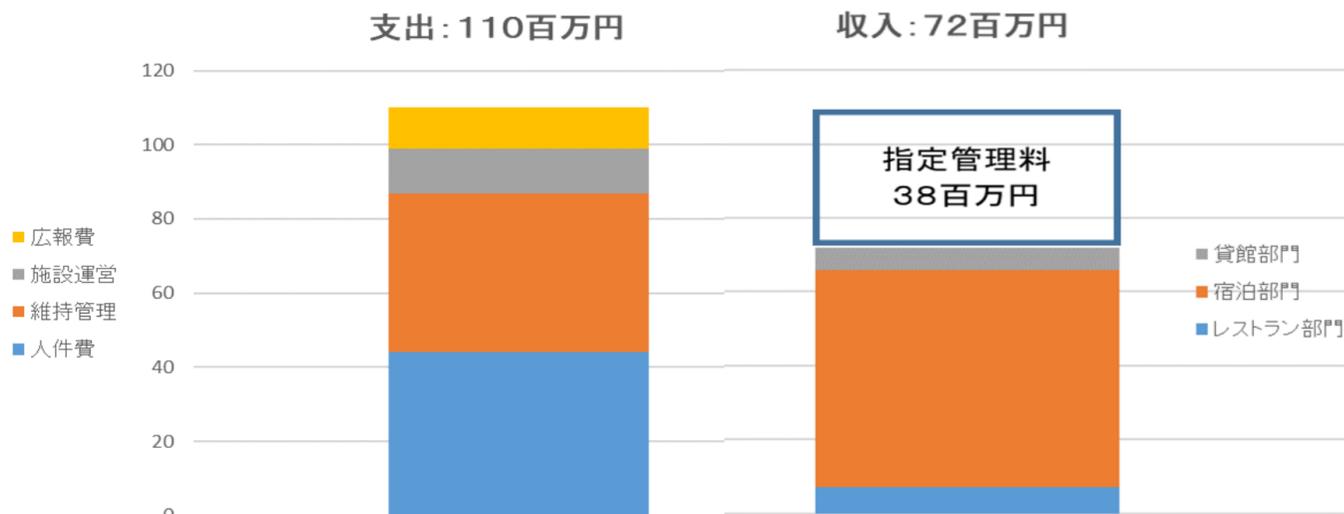


県実負担の推移(ランニング+公債費)

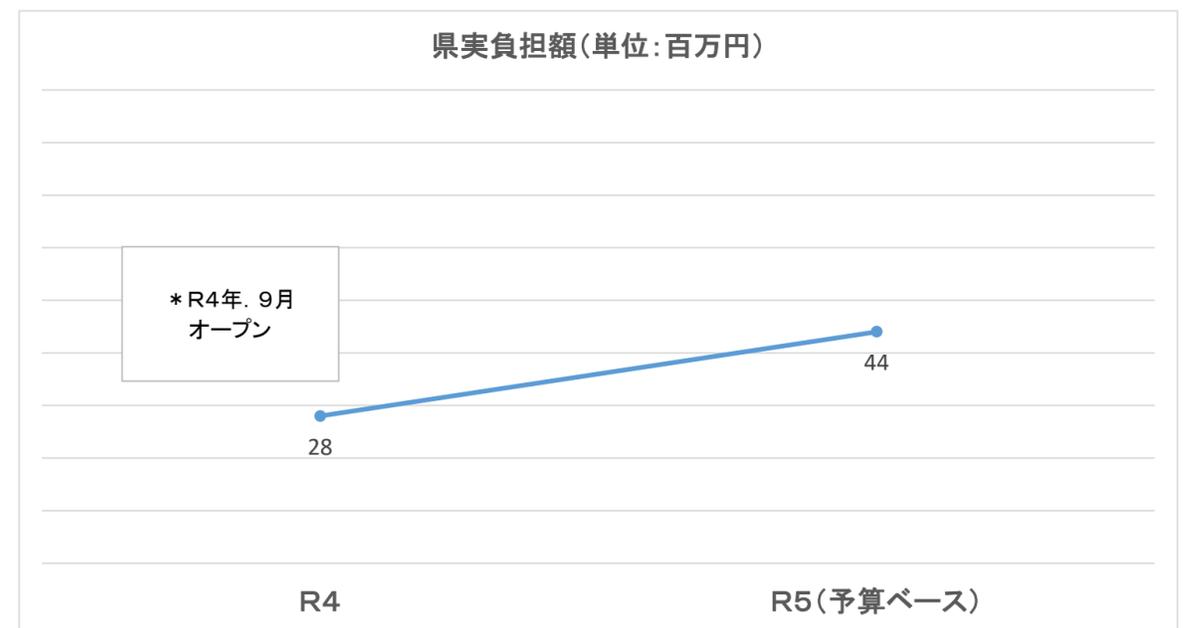


施設名	整備費 (イニシャルコスト)	毎年度必要な経費		
<p>なら食と農の魅力創造国際大学校 附属セミナーハウス</p> <p>令和4年9月 オープン</p> <p>運営方式: 指定管理[利用料金制]</p> <p>指定管理者 平川商事・アスカ美装共同事業体 契約期間 令和4年9月から令和9年3月</p>	<p>2,529百万円</p> <p>[財源内訳] 国庫補助金 434百万円 県債 1,359百万円 一般財源等 736百万円</p>	<p>ランニング・コスト (令和5年度予算ベース)</p> <p>支出 <u>38百万円</u></p> <p>指定管理委託料 セミナーハウス 38百万円 * 令和5年度予算(通年)ベース 【積算: 支出110 - 収入72 = 38百万円】</p>	<p>公債費(元利) 借入期間 30年 平年度化ベース</p> <p>52百万円 (元金50 + 利息2)</p> <p>うち交付税措置 17百万円 県実負担 <u>35百万円</u></p>	<p>合計</p> <p>合計90百万円 県実負担合計 <u>73百万円</u></p>

指定管理委託料の積算

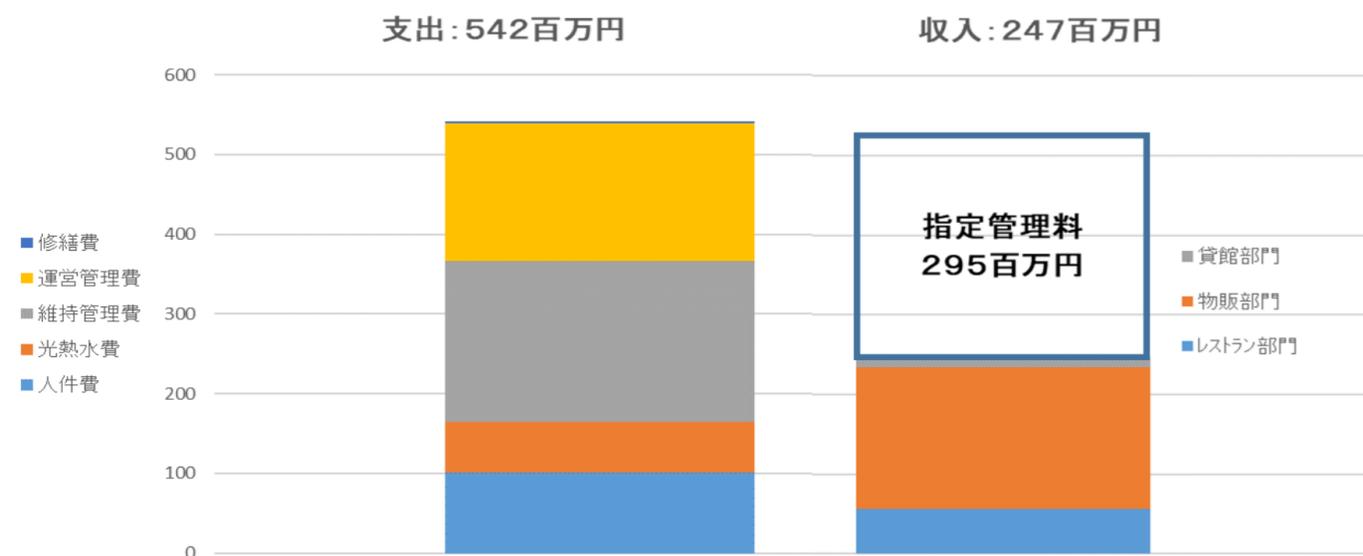


県実負担の推移(ランニング+公債費)

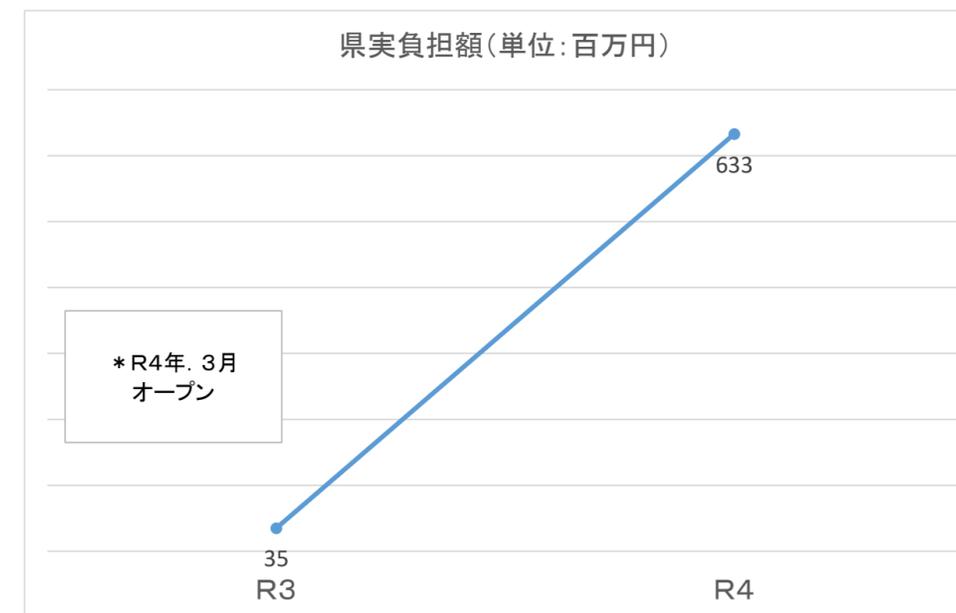


施設名	整備費 (イニシャルコスト)	毎年度必要な経費		
		ランニング・コスト (令和4年度決算見込みベース)	公債費(元利) 借入期間 30年 平年度化ベース	合計
<p>なら歴史芸術文化村 (県出先機関)</p> <p>令和4年3月 オープン</p> <p>運営方式:直営+指定管理[利用料金制]</p> <p>指定管理者 (レストラン・物販部門) やまとの道コンソーシアム 契約期間 令和4年3月から令和9年3月</p>	<p>9,884百万円</p> <p>[財源内訳] 国庫補助金 1,875百万円 県債 5,296百万円 一般財源等 2,713百万円</p>	<p>支出 695百万円</p> <p>職員給与費 161百万円 運営・管理費 84百万円 歴史文化事業費 80百万円 芸術文化事業費 64百万円 交流にぎわい事業費 11百万円 指定管理委託料 295百万円 【積算:支出542-収入247=295百万円】</p> <p>収入 87百万円</p> <p>国庫補助金 69百万円 入居団体使用料 7百万円 ホテル事業用地貸付料 6百万円 入居団体光熱水費 4百万円 その他(図録販売等) 1百万円</p> <p>支出-収入(県実負担) 608百万円</p>	<p>201百万円 (元金196百万円+利息5百万円)</p> <p>うち交付税措置 68百万円 県実負担 133百万円</p>	<p>合計809百万円</p> <p>県実負担合計 741百万円</p>

指定管理委託料の積算

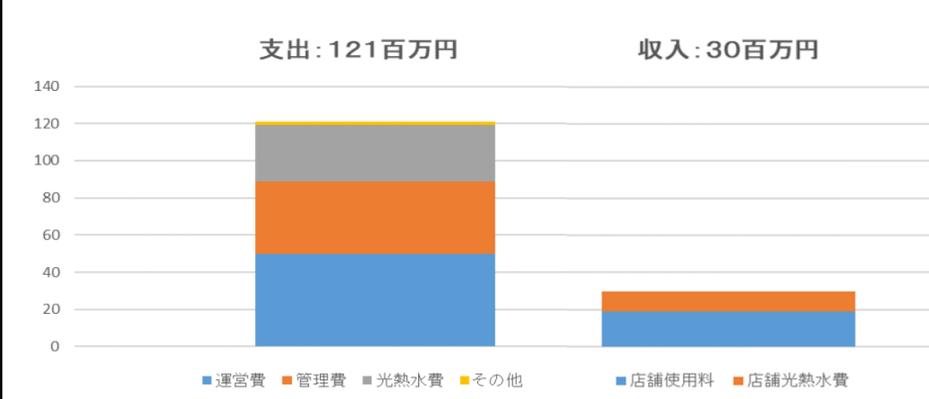


県実負担額の推移(ランニング+公債費)

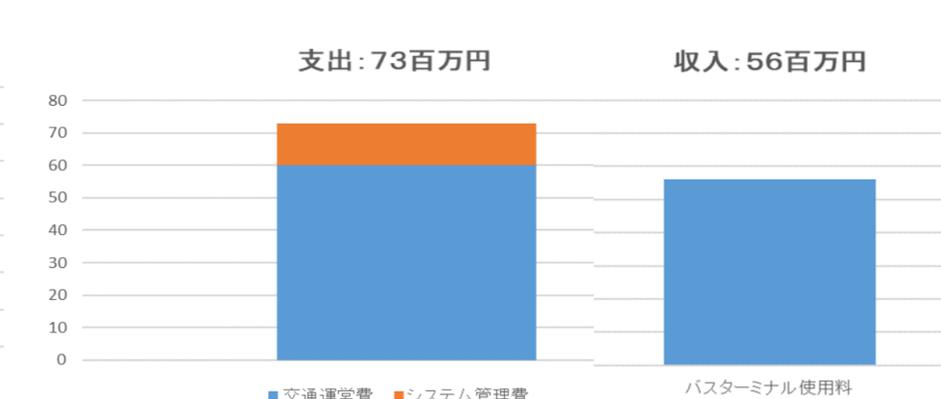


施設名	整備費 (イニシャルコスト)	毎年度必要な経費		
<p>奈良公園バスターミナル</p> <p>令和元年4月 オープン</p> <p>運営方式:直営(一般会計、特別会計)</p>	<p>4,544百万円</p> <p>[財源内訳]</p> <p>国庫補助金 1,580百万円</p> <p>県債 1,434百万円</p> <p>一般財源等 <u>1,530百万円</u></p>	<p>ランニング・コスト (令和4年度決算見込みベース)</p> <p>&lt;一般会計&gt;</p> <p>支出 121百万円</p> <p>  運営費(案内等) 50百万円</p> <p>  管理費(清掃・警備) 39百万円</p> <p>  光熱水費 30百万円</p> <p>  その他(機器保安等) 2百万円</p> <p>収入 30百万円</p> <p>  店舗使用料 19百万円</p> <p>  店舗光熱水費 11百万円</p> <p>支出-収入(県実負担) <u>91百万円</u></p> <p>&lt;特別会計&gt; 駐車場・乗降場</p> <p>支出 73百万円</p> <p>  交通運営費 60百万円</p> <p>  システム管理費 13百万円</p> <p>収入 56百万円</p> <p>  バスターミナル使用料 56百万円</p> <p>支出-収入(県実負担) <u>17百万円</u></p>	<p>公債費(元利) 借入期間 30年 平年度化ベース</p> <p>55百万円 (元金53百万円+利息2百万円)</p> <p>+ うち交付税措置 15百万円</p> <p>県実負担 <u>40百万円</u></p>	<p>合計</p> <p>合計163百万円</p> <p>県実負担合計 <u>148百万円</u></p>

一般会計の収支



特別会計の収支



県実負担額の推移(ランニング+公債費)

